

いしがみ

石神町会

町会便り



第 61 号

令和 4 年 6 月 発行

ご報告

会長 豊田 勝良

日頃より町会運営、活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

昨年度同様に本年令和4年度も定期総会を書面決議とし、各議案ごとの否認確認書を提出していただきましたところ、賛成多数で各議案のご承認をいただきました。各議案の反対票ならびに自由意見にそれぞれお答えさせていただきます。

<各議案ごとの反対票>

1、1号議案:町会事業報告否認票 1票

* ホームページが全く更新されていません。どのような活動をされたのか不明です。(回覧チラシの電子化が停止したまま)

お答え:19年 6 月27日で一時中断していましたが、ご要望のお声を聞き 6 月1日からホームページ掲載を再開いたしました。なお、中断の期間の回覧チラシも電子化し保存してあります。現在いつの分でも参照は可能です。

2、5号議案:一部役員の任期延長(町会長1期 2 年4期)否認票 1票

* 理由の説明も無しに賛成する事はできません。会則の意味がなくなります。

お答え:昨年度で4期 8 年の任期が来ておりましたが、昨年早々から緊急事態宣言が発令され、又その後の変異株の影響により役員会も思うように開催出来ず、次期会長選びも遅くなってしまいました。今後この2年の間に次期会長を選出したいと思えます。

<自由意見>

3、3ヶ月に一度、掃除のイベントを設けてはいかがですか。町内のクリーンは住民で協力しあいませんか。私は参加です。

お答え:現在 2 ヶ月に一度、石神井公園駅周辺の清掃を各支部(2支部)が順番に行っています。又、練馬区の一斉清掃及び美化活動月間として毎年 5 月、11 月の最終日曜日に自宅周辺の清掃の声掛けをしております。昨年度はコロナにより中止。町会としても2~3ヶ月に一度自宅周辺の清掃を考えて参ります。

4、石神井庁舎近辺の道路整備されますので、昔の様に 8 丁目に駅からバス便が復活する様お願いできませんか？

お答え:バス路線復活要望は検討します。バス会社の運営方針、どの程度利用客がいるのか、中々難しいと思えます。

5、町会のバス日帰り旅行待ってます。ぜひぜひ。制限解除で都から補助金がおりますようですよ。

お答え:秋頃までには町会活動も通常通りに行っていきたいと思っています。バス旅行、防災訓練等、役員会でどの様に開催したらいいか検討していきます。詳しくはホームページ、「町会だより」回覧でお知らせします。都からの補助金ですが、町会には無いようです。

各部のお知らせ

地域福祉部

盆踊り練習会

今年の盆踊りは、石神井小学校が中止で、光和小学校が児童と関係者だけで7月23日16時30分～18時30分まで行うことになり、一般参加はできないことになりました。

今年の町会による盆踊り練習会は取りやめることにしました。

広報部

昔の「町会だより」お持ちではないですか？



コロナ渦中、外にはウイルスが蔓延していたために、やむをえず誰もが目をおのずと内へと向きかえさせられました。町会でも今返出してきた「町会だより」を揃えて一覧で見てもよい。また町会の歴史の史料として備えておこうという意見が出てきました。平成16年6月に創刊した「町会便り」1号から、令和3年12月発行の60号までの「町会便り」。その残部保有状況を町会事務室の「気楽な家」で調べたところ、かなり欠号があるのが判明。なかで、36号(平成26年12月発行)から現在までは、印刷を依頼している印刷所が同じで、そこに印刷原版がある事が分かり、欠号を再び印刷でき欠号を補充できました。

しかし36号以前の35号までの号は、印刷所が違い原版はなく、当時の広報委員会の委員の方ももう原稿を持っていませんでした。古い号をお持ちだと思われる方に声をかけましたが、まだかなりの号が、現在の所入手できていません。どなたかお宅で所蔵されている方は、「気楽な家」(電話 5393-1023)にご連絡頂けないでしょうか。先人が努力して作った「町会だより」がこのまま消えてしまうのは、如何にも残念です。よろしくご協力くださるようお願い致します。

欠号:2, 4, 5, 7, 14, 15, 16, 18, 22, 24, 25, 26, 27, 28, 30, 31, 35

支部

駅前を綺麗にする。地道な作業ですが…

石神井公園駅北口前の広場を中心に、東西のバスターミナルを囲む楕円形の道路の周りを清掃する作業に、本町会会員が参加しているのをご存じですか。この場所に関連ある町会や組織など、8団体が順番にここを清掃してきました。石神町会にも、2月に1回、1月置きに当番が回ってきます。14班ある本町会の班から、その都度3班が当たり、各班に参加者を2人ずつ選んでいただき、ごみを入れるビニール袋を家から持参、町会が用意する「ゴミ拾い」で、道路に落ちているタバコの吸い殻、ごみやペットボトル等を拾い、我が家に持ち帰り家庭ごみとして処理します。作業の際は、町会員として働いていることを明らかにするように、写真の様な石神町会専用の赤いベストと青い帽子をかぶるのが決まり。班から参加される方は、班長が選ぶことになっていますが、趣旨の徹底が不十分で会員に依頼しづらい状況です。日常利用する駅前の美化になる事ですので、今後話が合った時には積極的な参加をお願いします。



「子育て地蔵」

コロナで生きづらい時に、昔からこの町では、どんなものを頼りにしてきたのか。そんな気持ちで、この町会の中にある信仰の証を調べてきました。先ず調べたのは神社。町会内には神社が二つあります。色々な人に聞いてみて、驚いたのは、今でもその神社がある地元では、篤い信心が生きていることでした。

今回調べたのは神社ではなく、大きなお地蔵様。石神井庁舎を出て、前の富士街道を50m程左に行くと、道路の向こう側に子供の遊び場が見えます。その右隣に銀杏の木が2本聳えており、目の前迄行かないと見えにくいのですが、銀杏が囲む参道の先に背が高い石像が立っています。高さが2m30cmもあり、子育て地蔵と言われているそうです。



お地蔵さまの台座や背面に寄進して建てた方の名や建てた年月日が刻まれているのが見えます。しかし摩滅した箇所もあり、なかなか読み辛い。幸いに練馬区教育委員会が発行した「練馬の石造物一路傍編その二」に、碑文が解説されています。子育て地蔵は、元文2年(1737)10月6日に、武州豊嶋郡下石神井村の名で建てられた。願主は12名。内、豊田姓が8名、渡辺姓が4名で豊田姓が圧倒的に多い。

どんな風に拜まれてきたのか。近くにお住いの古老や、他の町会の古老に聞いても、子供の頃に遊んだ記憶も、拜んだ記憶もないという。その上、神社と違い今は講も活動してないらしい。お地蔵さまがおられる場所の左隣は、今児童の遊園地となっており、その中に石神町会の防災倉庫もあります。

像に刻まれた豊田姓を頼りに、豊田園の豊田昭夫さん(88才)にお話を聞きました。昔は、子育て地蔵と隣にはお墓があり、その間に平屋で座敷がある集会所があった時代もあり、近くの商店会の人たちも使っていたそうです。その後、集会所が無くなった後で、都が課税。講中21人が相談し、地蔵以外の土地を都に遊園地として貸す事になった。お墓を禅定院に移し、空き地を遊園地とした。そのお墓の前に通る大山街道で生き倒れた方を葬った無縁仏なのか。はっきりしないが、禅定院がお地蔵様の供養をしたことを覚えているそうです。

この話を裏付ける史料を町会の豊田勝良会長から見せて頂きました。明治20年9月6日付で、今のお地蔵様がある所と隣の遊園地を含んだ土地全体の登記の写しがあり、権利者は23名。地目はなんと墓地になっています。更に、昭和3年に豊田平次郎氏が書いた「相談覚書」がありました。1.墓地を禅定院墓地に改葬する。2.墓地内地蔵尊并庚申塔を禅定院門前東側に奉遷する事。3.墓地は宅地とし希望者に貸渡し相当料を申受くること。この覚書で、確かにこの時期、区画内には墓地があったようです。



お地蔵様の目の前の道は、大山阿夫利神社参詣への大山道で、道中生き倒れた参詣者を、葬った墓だったのではないかと。あるいは、大きな震災で多数の方が亡くなり、無縁仏として墓に納め、普通以上の大きな子育て地蔵を建て、死者を弔ったのかもしれませんが。恐ろしい記憶の場で、地元の人も子も気楽に遊びには行きづらかったのではないかと。など想像は膨らみますが、未だ史料が十分ではなく、今後も調べたいと思っています。

お地蔵様に向かう通路の左側に小さな祠があり、石像が2体置かれていました。小柄ですが、両方とも顔が綺麗に残っている元禄11年(1698)造立の庚申塔と寛政8年(1796)の聖観音像。また、寛政10年(1798)の灯籠もありました。どの石像にも下石神井村の願主名が彫られています。先日たずねたら、綺麗なお花が飾ってあり、今も世話し祈っている方が居るのだと判り、ホッとしました。

地域情報

石神井障害者地域生活支援センター ういんぐ

石神町会のみなさま、こんにちは！地域生活支援センターういんぐです。

「ういんぐ」は、障害のある人たちやその家族が地域で孤立せず、安心して自分らしくいきいきとした生活が送れるように一緒に考え、サポートするところです。電話や面接で気軽にご相談いただけます。自由にくつろげるオープンスペースの開放、花壇の手入れや創作活動などのプログラムを開催しています。

また、町会の一員として、石神町会の赤いベストを着て、掲示板のポスター貼り活動を行っています。活動中、近隣住民の方々から「ありがとう」「ご苦労様」と声をかけていただき、ほっこりすることも。

最近、コロナも落ち着きを見せる中で、中止していたプログラム等の再開方法も検討しています。今後も地域のみなさまと共に活動していきたいと思っています。是非、

お気軽にお声かけください。

【問合せ先】

〒177-0041

東京都練馬区石神井町 7-3-28 石神井保健相談所併設

TEL:03-3997-2181 FAX:03-3997-2182



ういんぐが属する「練馬区社会福祉協議会」は、みなさまにご支援、ご協力をいただき70周年を迎えました。ありがとうございます！

第4回目のワクチン接種

感染者数は、減り続けていたのに、この所下げどまりになっているようで未だ油断はできません。

今月から、60歳以上で、基礎疾患がある方をメインのターゲットとして、第4回目のワクチン接種が、行われることが決まっています。3回目までと同様に、今回も区から所定の書類が届きます。その後の手順も、前回掛かりつけ医の方から電話で連絡があり、接種された方には、今回も前回同様に医院の方から連絡があるそうです。接種しておけば、重症化や後遺症を軽減することができるそうなので、やっておいた方がよさそうです。



発行者： 豊田 勝良

担当部： 広報部

広報部長： 坂本 直明